

### 神奈川県建設産業構造改善推進大会

## 米田 雅子氏が講演

建設トッ プランナー 倶楽部代表幹事



「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創

出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

■異種の道ネットワーク  
岐阜県下呂市での活動。災害による孤立予想集落からの回避ルートを国道、県道、市道だけでなく、林道や農道に加え、地図に載っていない河川管理道など公共の道、企業などが所有する民間道を総合することで確保する試みだ。現道を活用するから新たな道路を建設するより低コストで済む。  
異なる準拠法令、定義、適用規格などがあり、法制度の工夫が必要だが、国土強靱化の今がチャンス。  
関東から九州にかけての太平洋沿岸では「命の道」が求められており、新たな考え方で

# 平時でも役立つ防災対策を

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

■まとめ  
地域防災の最前線として、地域建設業への期待は大きい。まず、自社の安全体制(BCCP)を確立してほしい。皆の知恵を集めないと、大規模災害には対応できない。まずは、周囲にある資源を使って今できる防災対策を進めるべき。

神奈川県が25日に開いた2013年度建設産業構造改善推進大会で、建設トッ プランナー倶楽部代表幹事の米田雅子氏(慶應義塾大学理工学部特任教授)が、「震災復旧における地域建設業と今後の防災・減災政策」をテーマに講演した。米田氏は「巨大地震の発生は、人間の英知を超えている。平時でも役立つ」という観点で、強靱(きょうじん)な防災対策を皆さんから提案してもらいたい」と訴えた。

講演の要旨は次の通り。

■大震災復旧・復興―地域建設業の闘い  
仙台建設業協会は、発災の直後に行動を起こした。震災前に防災訓練を行い、自社の持ち場を把握していたことも功を奏した。岩手県の釜石でも行政が一番最初に頼ったの

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追

が建設業界。釜石支部は、大槌への道路ががれきなどで途絶状態だったため、道路の交通が可能な遠野支部からの応援を依頼。こういった連携も大切だ。東日本大震災では、地元企業の6割が発災後4時間以内

間に活動を開始したという調査結果がある。  
地域建設業は「防災の最前線」であり、「社会インフラを点検・維持する地域の町医者」であり、「複業による雇用創出」も担う。地方の雇用と産業を支えるのは地域の総合産業である建設業だ。  
■東北復旧・復興の計画と現状  
ほとんどの地域で復興計画はできている。しかし、その実行は大きく遅れているのが現状。用地買収や手続きに追